

県高校英語ディベート大会 優勝

10月24日、県高校英語ディベート大会が行われ、本校Aチームが優勝しました。

初出場の本校は2チームが出場し、予選ブロックをともに1位で通過し、決勝トーナメントに進出。Bチームは惜しくも敗れましたが、Aチームは順調に勝ち上がり、決勝で大会連覇中の宮崎西高と対戦。テーマに沿った討論の結果、見事勝利し、初出場、初優勝に輝きました。

また、石坂果南さんが**ベストディベーター賞**に選ばれました。

Aチームは佐賀県で行われる九州大会に出場します。更なる活躍を期待します！

【Aチーム】

- 高木 香菜子 (文理科1年: 宮崎第一中)
- 石坂 果南 (文理科1年: 宮崎第一中)
- 山口 博将 (文理科1年: 宮崎第一中)
- 坂本 康平 (文理科1年: 宮崎第一中)
- 西田 航太郎 (文理科1年: 宮崎第一中)

【Bチーム】

- 堀之内 俊 (文理科1年: 宮崎第一中)
- 柏木 雅也 (文理科1年: 宮崎第一中)
- 岩井 美咲希 (文理科1年: 赤江中)
- 島高 聖奈 (文理科1年: 本郷中)
- 薬師寺 莉央 (文理科1年: 久峰中)
- 桐山 京介 (文理科1年: 宮崎第一中)

(25) 社 会

2015年(平成27年)10月25日 日曜日

県高校英語ディベート大会 宮崎第一A優勝

宮崎市



県高校英語ディベート大会で優勝した宮崎第一高Aチーム

県高校英語ディベート大会(県教委など主催)は24日、宮崎市の南九州短期大であった。県内の10校14チーム73人が出場。日ごろ磨いた英語力を競い合い、同市・宮崎第一高Aチームが優勝に輝いた。

「日本国は、自衛隊の参加制限を緩和し、国際連合の平和維持活動に、より積極的に貢献すべきである」とのテーマについて、2チームが賛成と反対に分かれ討論。大学教員と外国語指導助手(A L

T)計12人が、主張や質問の説得力などを審査した。

決勝では賛成側の宮崎西高(同市)Aチームが「国連平和維持活動(PKO)に積極的に参加することで、今以上に他国軍に医療や技術面で支援ができる」、反対側の宮崎第一高Aチームは「日本がテロの標的となる恐れがあり、多額の借金を抱える日本には、テロ対策に投入するお金はない」などと主張し、熱い論戦を展開した。

優勝し、ベストディベーター賞にも選ばれた同校1年の石坂果南さん(16)は「楽しみながら意見を述べることでよかった。九州大会で良い成績が出せるよう、さらに勉強に励みたい」と話していた。

優勝、準優勝の両校は12月5日に佐賀県で開かれる九州大会に出場する。

(村永哲哉)